

Firepower Threat Defense(FTD)ポリシー導入の トラブルシューティング

内容

[概要](#)

[背景説明](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ポリシー導入の概要](#)

[概要例](#)

[トラブルシューティング](#)

[FMCグラフィカルユーザインターフェイス\(GUI\)](#)

[導入トランスクリプトの利用](#)

[FMCログによるトラブルシューティング](#)

[/var/opt/CSCOpX/MDC/log/operation/usmsharedsvcs.log](#)

[/var/log/sf/policy_deployment.log](#)

[管理対象デバイスのトラブルシューティング](#)

[/ngfw/var/log/ngfwManager.log](#)

[/ngfw/var/log/sf/policy_deployment.log](#)

[例](#)

[一般的なエラーメッセージ](#)

[TACに問い合わせる](#)

概要

このドキュメントでは、FTDでのポリシー導入プロセスの概要と、基本的なトラブルシューティング手法について説明します。

背景説明

さらにトラブルシューティングを行うために、Cisco Firepower Threat Defense (FTD)、従来のステートフルファイアウォール機能 Adaptive Security Appliances (ASA)および Next-Gen ファイアウォール機能 (Powered by Snort)が1つの製品に統合されました。

この変更により、Policy Deployment Infrastructure FTDでは、ASAコード (LINAとも呼ばれる) と Snort 一つの包みにまとめて

前提条件

次の製品に関する知識があることが推奨されます。

- Firepower Management Center (FMC)
- Firepower Threat Defense (FTD)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

ポリシー導入の概要

Cisco FTDは、Policy Deployments に登録されているデバイスの設定を管理およびプッシュする Firepower Management Center (FMC) 自体。

導入環境内には、「フェーズ」に分かれた一連のステップがあります。

FMCの各フェーズの概要を次に示します。

フェーズ 0	導入の初期化
フェーズ 1	Database Objectコレクション
フェーズ 2	ポリシーとオブジェクトの収集
フェーズ 3	NGFWコマンドライン設定の生成
フェーズ 4	デバイス導入パッケージの生成
フェーズ 5	展開パッケージの送受信
フェーズ 6	保留中の展開、展開アクション、および展開成功メッセージ

プロセスの各フェーズと障害の発生場所に関する知識は、次のような障害のトラブルシューティングに役立ちます。 Firepower システム面

状況によっては、以前の設定による競合や、Advanced Flex Configuration キーワードがないため、デバイスレポートで対処できない障害が発生する可能性があります。

概要例

ステップ1: Deploymentを選択します。

ステップ2: デバイスの導入がコミットされると、FMCはそのデバイスに関連するすべての設定の収集を開始します。

ステップ3: 設定が収集されると、FMCはパッケージを作成し、SFTunnelという通信メカニズムを介してセンサーに送信します。

ステップ4:FMCはセンサーに対して、個々の応答をリッスンしながら、指定されたポリシーで展開プロセスを開始するように通知します。

ステップ5: 管理対象デバイスがアーカイブを解凍し、個々の設定とパッケージの適用を開始します。

A.導入の前半は、Snort 設定 Snort 設定は、その有効性を確認するためにローカルでテストされます。

有効であることが確認されると、新しい設定は実稼働ディレクトリに移動され、Snort.検証が

失敗すると、このステップでポリシーの導入が失敗します。

B.展開パッケージのロードの後半は、ngfwManagerプロセスによってLINAプロセスに直接適用されるLINA設定用です。

障害が発生すると、変更がロールバックされ、ポリシーの展開が失敗します。

ステップ6：両方とも Snort LINAパッケージが成功すると、管理対象デバイスから信号が送られまず Snort 新しい設定をロードし、現在のすべての設定を保存するために、再起動またはリロードします。

ステップ7：すべてのメッセージが成功すると、センサーは成功メッセージを送信し、Management Centerによって確認されるまで待機します。

ステップ8：受信されると、FMCはタスクを成功としてマークし、ポリシーバンドルの終了を許可します。

トラブルシューティング

次の間に発生した問題 Policy Deployment 以下が原因である可能性があります、これらに限定されません。

1. 誤設定
2. FMCとFTD間の通信
3. データベースとシステムの状態
4. ソフトウェア不具合および警告
5. その他の特殊な状況

これらの問題の中には、簡単に修正できるものもあれば、シスコの支援が必要なものもあります Technical Assistance Center (TAC).

このセクションの目的は、問題を切り分けたり、根本原因を特定したりする手法を提供することです。

FMCグラフィカルユーザインターフェイス(GUI)

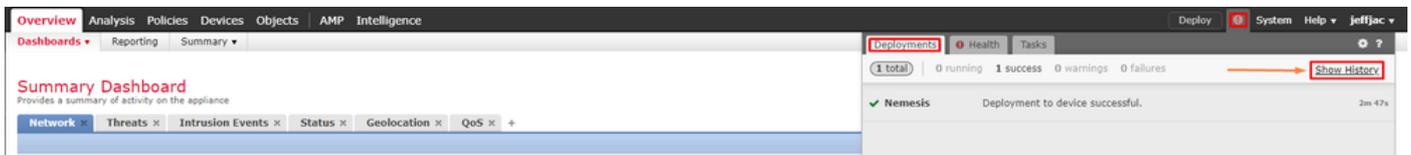
シスコでは、FMCアプライアンスで導入の失敗が発生した場合の各トラブルシューティングセッションを開始することを推奨しています。

障害通知ウィンドウでは、6.2.3以降のすべてのバージョンに対して、他の障害の可能性に役立つ追加ツールがあります。

導入トランスクリプトの利用

ステップ1: Deployments FMC Web UIにリストされます。

ステップ2: Deployments タブが選択されている場合は、 Show History.



ステップ3: Deployment History ボックスで、FMCから以前のすべての展開を確認できます。より多くのデータを表示する配置を選択します。

ステップ4: 導入要素を選択したら、Deployment Details 選択すると、Transaction.これらのエントリは、次の列に分類されます。Device Number, Device Name, Status,と Transcript.

Deployment History

Deployment ID	Device	Status	Transcript
1	Nemesis	Success	[Download Icon]

Deployment details for jeffjac at 2019-11-20 07:01 PM

Device	Status	Transcript
1	Success	[Download Icon]

jeffjac
Start: 2019-11-20 07:01 PM
End: 2019-11-20 07:04 Success

System
Start: 2019-11-20 01:10 AM
End: 2019-11-20 01:12 Success

System
Start: 2019-11-16 01:11 AM
End: 2019-11-16 01:14 Success

System
Start: 2019-11-13 01:07 AM
End: 2019-11-13 01:09 Success

System
Start: 2019-11-08 01:06 AM
End: 2019-11-08 01:08 Success

System
Start: 2019-11-06 01:23 AM
End: 2019-11-06 01:25 Success

System
Start: 2019-11-03 01:10 AM
End: 2019-11-03 01:12 Success

System
Start: 2019-11-01 01:27 AM
End: 2019-11-01 01:29 Success

System
Start: 2019-10-20 01:11 AM
End: 2019-10-20 01:13 Success

ステップ5: 問題のデバイスを選択し、トランスクリプトオプションをクリックして、個々の導入トランスクリプトを表示し、障害や管理対象デバイスに配置されている設定について通知します

。

FMCログによるトラブルシューティング

Cisco TACにログの分析を依頼することは適切ですが、ログを検索することで、最初の問題の切り分けと迅速な解決に役立つ場合があります。FMCには、ポリシー導入プロセスの詳細を示す複数のログファイルがあります。

最も一般的に参照される2つのログは次のとおりです `policy_deployment.log` と `usmshredsvcs.log`。

このドキュメントで説明したすべてのファイルは、次のような複数のLinuxコマンドで表示できます。 `more`、`less` と `vi`。ただし、以下を確認することが非常に重要です。 `read` アクションが実行されます。すべてのファイルを表示するには、ルートアクセスが必要です。

`/var/opt/CSCOpX/MDC/log/operation/usmshredsvcs.log`

このログには、FMCでのポリシー導入タスクの開始と各フェーズの完了が明確に記録されます。これにより、導入が失敗したフェーズと失敗コードを判別できます。

「 `transactionID` ログのJSON部分に含まれる値を使用して、特定のデプロイ試行に関連するログエントリを検索できます。

```
22-Nov-2019 01:28:52.844, [INFO], (DefenseCenterServiceImpl.java:1372)
com.cisco.nm.vms.api.dc.DefenseCenterServiceImpl, ajp-nio-127.0.0.1-9009-exec-4
** REST Request [ CSM ]
** ID : e1c84364-0966-42eb-9356-d2914be2b4a3
** URL: Broadcast message.send.deployment
{
  "body" : {
    "property" : "deployment:deployment_initiated_for_the_device",
    "argumentList" : [ {
      "key" : "PHASE",
      "value" : "Phase-0"
    } ]
  },
  "user" : "68d03c42-d9bd-11dc-89f2-b7961d42c462",
  "type" : "deployment",
  "status" : "running",
  "progress" : 5,
  "silent" : true,
  "restart" : true,
  "transactionId" : 12884916552,
  "devices" : [ "93a2089a-fa82-11e9-8219-e1abeec81dc9" ]
}
```

`/var/log/sf/policy_deployment.log`

このログファイルは6.4以降の6.xリリース全体に存在していましたが、そのカバレッジが拡張されました。

ここでは、FMCで実行される展開パッケージの構築に必要な詳細な手順について説明します。したがって、フェーズ1 ~ 4の障害の分析に最適です。

各フェーズの開始は、「 `INFO start..` 」:

```
Jul 18 17:20:03 firepower ActionQueueScrape.pl[17287]: INFO starting populateGlobalSnapshot -
sqlite = /var/cisco/umpd/8589938337/DC_policy_deployment.db, transaction = 8589938337, time =
1563470402, running as (memory = 56.35 MB) (Framework 3950<196 <- CSMTasks 223<10 <-
SF::ActionQueue 2457)
Jul 18 17:20:03 firepower ActionQueueScrape.pl[17287]: INFO deployment threading: disabled
(Framework 198 <- CSMTasks 223<10 <- SF::ActionQueue 2457)
Jul 18 17:20:03 firepower ActionQueueScrape.pl[17287]: INFO -> calling
SF::UMPD::Plugins::Correlation::Manager::getPluginDependencies (Plugin 298<90 <- Framework
3579<3566<216 <- CSMTasks 223)
...
```

管理対象デバイスのトラブルシューティング

追加のフェーズとセクションは、デバイスパッケージ、ハイアベイラビリティ設定、および各管理対象デバイスの前のフェーズの結果に依存します。

導入の問題が管理対象デバイスの障害に切り分けられた場合は、デバイスに次の2つのログを記録して、デバイスに対してさらにトラブルシューティングを実行できます。
policy_deployment.logと**ngfwManager.log**を使用します。

/ngfw/var/log/ngfwManager.log

このログファイルには、次の作業に関する詳細な手順が記載されています。 **Config Communication Manager** と **Config Dispatcher FMC**と通信するには、導入パッケージと連携し、**Snort**および**LINA**設定の検証と適用を調整します。

次に、主要なフェーズの開始を表す**ngfwManager.log**の例をいくつか示します。

FTD receives FMC's request for running configuration:

```
May 30 16:37:10 ccm[4293] Thread-10: INFO com.cisco.ccm.ConfigCommunicationManager- Passing CD-
Message-Request to Config Dispatcher...
May 30 16:37:10 ccm[4293] Thread-10: DEBUG com.cisco.ccm.ConfigCommunicationManager- <?xml
version="1.0" encoding="UTF-
8"?><cdMessagesList><timeStamp>1559234230012</timeStamp><cdMessage><name>LinaShowCommand</name><
messageId>-
753133537443151390</messageId><contentType>XML</contentType><msgContent><![CDATA[<?xml
version="1.0" encoding="UTF-8"?><message><name>LinaShowCommand</name>...
```

FTD receives FMC's request to download the deployment package:

```
May 30 16:37:18 ccm[4293] Thread-9: INFO com.cisco.ccm.ConfigCommunicationManager- Downloading
database (transaction 8589938211, version 1559234236)
May 30 16:37:18 ccm[4293] Thread-9: DEBUG com.cisco.ccm.DownloadManager- handle record:
8589938211, status = PENDING
May 30 16:37:18 ccm[4293] Thread-9: DEBUG com.cisco.ccm.DownloadManager- begin downloading
database
```

FTD begins the deployment of policy changes:

```
May 30 16:37:21 ccm[4293] Thread-9: INFO com.cisco.ccm.ConfigCommunicationManager- Starting
deployment
May 30 16:37:21 ccm[4293] Thread-11: INFO com.cisco.ccm.ConfigCommunicationManager- Sending
message: DEPLOYMENT_STATUS_CCM to Manager
```

FTD begins LINA deployment:

```
May 30 16:37:42 ccm[4293] Thread-19: DEBUG
com.cisco.ngfw.configdispatcher.communicators.LinaCommunicatorImpl- Trying to send Start-Config-
Sequencerequest to lina
```

FTD begins finalizing the deployment:

```
May 30 16:38:48 ccm[4293] Thread-19: DEBUG
com.cisco.ngfw.configdispatcher.communicators.LinaCommunicatorImpl- Clustering Message sent out
of ConfigDispatcher:
Name:Cluster-App-Conf-Finalize-Request
```

/ngfw/var/log/sf/policy_deployment.log

このログには、Snort.ログの内容はほとんど高度なものであり、TACによる分析が必要ですが、いくつかの主要なエントリを使用してプロセスをトレースすることは可能です。

Config Dispatcher begins extracting the packaged policies for validation:

```
Jul 18 17:20:57 firepower policy_apply.pl[25122]: INFO -> calling
SF::UMPD::Plugins::NGFWPolicy::Device::exportDeviceSnapshotToSandbox (Plugin 230 <- Framework
611 <- Transaction 1085)
Jul 18 17:20:57 firepower policy_apply.pl[25122]: INFO found NGFWPolicy => (NGFWPolicy::Util
32 <- NGFWPolicy::Device 43 <- Plugin 235)
...
Jul 18 17:20:57 firepower policy_apply.pl[25122]: INFO export FTD platform settings...
(PlatformSettings::FTD::Device 29 <- Plugin 235<339 <- PlatformSettings::Device 13)
```

Config validation begins:

```
Jul 18 17:21:37 firepower policy_apply.pl[25122]: INFO starting validateExportedFiles - sqlite =
/var/cisco/deploy/sandbox/policy_deployment.db, sandbox = /var/cisco/deploy/sandbox/exported-
files (memory = 229.99 MB) (Framework 3950<687 <- Transaction 1101 <- main 194)
```

Validation has completed successfully:

```
Jul 18 17:21:49 firepower policy_apply.pl[25122]: INFO validateExportedFiles - sqlite =
/var/cisco/deploy/sandbox/policy_deployment.db, sandbox = /var/cisco/deploy/sandbox/exported-
files took 12 (memory = 238.50 MB, change = 8.51 MB) (Framework 3976<724 <- Transaction 1101 <-
main 194)
```

Config Dispatcher begins moving the validated configuration to the Snort directories in production:

```
Jul 18 17:21:54 firepower policy_apply.pl[26571]: INFO -> calling
SF::UMPD::Plugins::NGFWPolicy::Device::publishExportedFiles (Plugin 230 <- Framework 822 <-
Transaction 1662)
```

Snort processes will reload to apply the new configurations:

```
Jul 18 17:22:02 firepower policy_apply.pl[26571]: INFO Reconfiguring DE a3bcd340-992f-11e9-  
a1f1-ac829f31a4f9... (Snort::SnortNotifications 292<154 <- Snort::Device 343 <- Plugin 235)  
Jul 18 17:22:02 firepower policy_apply.pl[26571]: INFO sending SnortReload to a3bcd340-992f-  
11e9-a1f1-ac829f31a4f9 (Snort::SnortNotifications 298<154 <- Snort::Device 343 <- Plugin 235)
```

Snort reload has completed successfully:

```
Jul 18 17:22:14 firepower policy_apply.pl[26571]: INFO notifyProcesses - sandbox =  
/var/cisco/deploy/sandbox/exported-files took 16 (memory = 169.52 MB, change = 16.95 MB)  
(Framework 3976<964 <- Transaction 1680 <- main 200)
```

After LINA config apply finishes, Snort deployment is finalized:

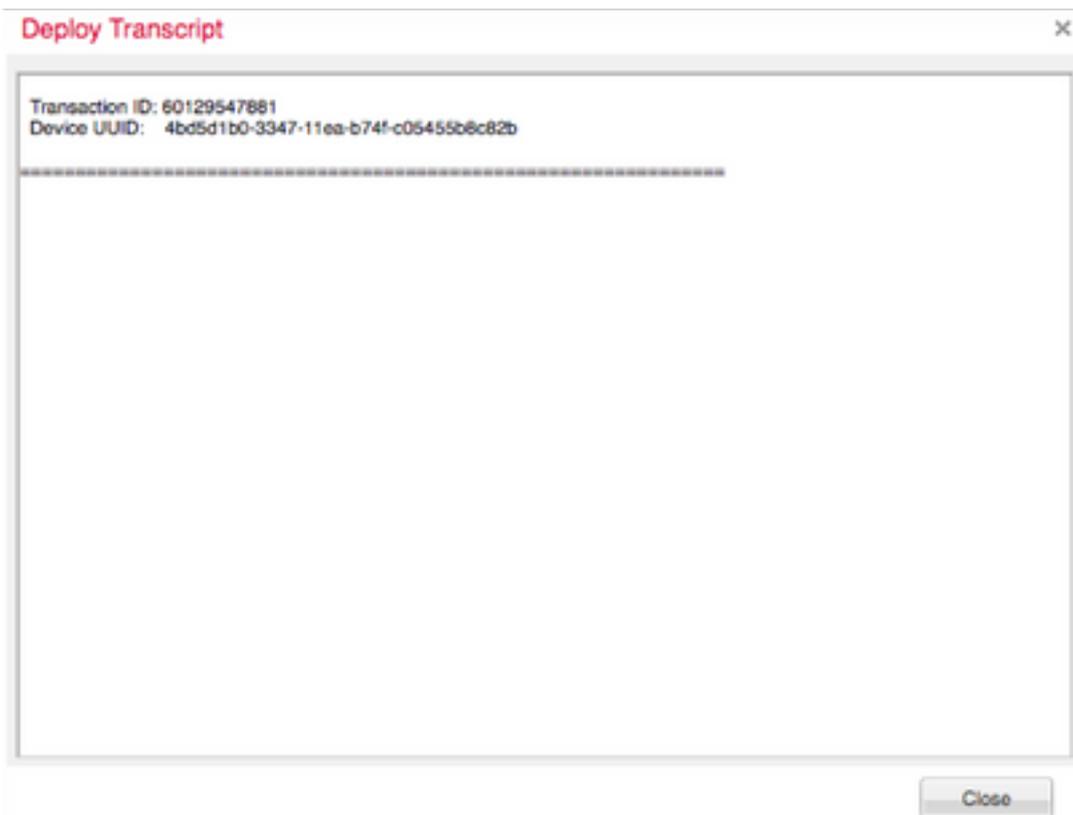
```
Jul 18 17:23:32 firepower policy_apply.pl[26913]: INFO starting finalizeDeviceDeployment -  
sandbox = /var/cisco/deploy/sandbox (memory = 101.14 MB) (Framework 3950<980 <- Transaction  
1740 <- main 206)
```

例

ステップ1: 導入が失敗する

5	admin Start: 2020-02-10 02:58 PM End: 2020-02-10 02:58 PM	 Failed
---	--	---

ステップ2: Deploy Transcript と Transaction ID.



ステップ3: Management Center Linuxユーティリティを使用します less fmcに表示されるファイルを読み取るには、次の手順を実行します。

例 : "sudo less /var/opt/CSCOpX/MDC/log/operation/usmshredsvcs.log" (sudo passwordはsshのユーザパスワードです)

```
admin@firepower:~$ sudo less /var/opt/CSCOpX/MDC/log/operation/usmshredsvcs.log
Password: _
```

ステップ4 : 次の段階に進んだら、 less展開transactionIDに関連するログを検索するには、スラッシュを使用してメッセージIDを入力します。

例 : "/60129547881" (While in less、nを使用して次の結果に移動)

実行メッセージの例 :

```
10-Feb-2020 19:58:35.810, [INFO], (DefenseCenterServiceImpl.java:1394)
com.cisco.nm.vms.api.dc.DefenseCenterServiceImpl, Thread-526
** REST Request [ CSM ]
** ID : b1b660d2-6c1e-40a0-bbc4-feac62673cc8
** URL: Broadcast message.send.deployment
{
  "body" : {
    "property" : "deployment:domain_snapshot_success",
    "argumentList" : [ {
      "key" : "PHASE",
      "value" : "Phase-2"
    } ]
  },
  "user" : "68d03c42-d9bd-11dc-89f2-b7961d42c462",
  "type" : "deployment",
  "status" : "running",
  "progress" : 20,
  "silent" : true,
  "restart" : false,
  "transactionId" : 60129547881,
  "devices" : [ "4bd5d1b0-3347-11ea-b74f-c05455b8c82b" ]
}
```

失敗メッセージの例：

```
10-Feb-2020 19:58:36.516, [INFO], (DefenseCenterServiceImpl.java:1394)
com.cisco.nm.vms.api.dc.DefenseCenterServiceImpl, Thread-526
** REST Request [ CSM ]
** ID : 3df80a13-2da8-4eb1-a599-c123bf48ac9f
** URL: Broadcast message.send.deployment
{
  "body" : {
    "property" : "deployment:failed_to_retrieve_running_configuration",
    "argumentList" : [ {
      "key" : "PHASE",
      "value" : "Phase-3"
    } ]
  },
  "user" : "68d03c42-d9bd-11dc-89f2-b7961d42c462",
  "type" : "deployment",
  "status" : "failure",
  "progress" : 100,
  "silent" : false,
  "restart" : false,
  "transactionId" : 60129547881,
  "devices" : [ "4bd5d1b0-3347-11ea-b74f-c05455b8c82b" ]
}
```

5)適切な障害を、「一般的な障害メッセージ」の添付テーブルと比較します。

つまり、failed_to_retrieve_running_configurationは、2つのデバイス間の通信が失敗したときに発

生じます。

一般的なエラーメッセージ

次に、一般的な障害メッセージを示します。これらのメッセージは、Management Center Task バックエンドに表示されるエラーコードも同様です。

これらのメッセージを分析し、考えられる解決策の一般的な理由と比較することができます。

これらの情報が表示されない場合、または問題が解決しない場合は、TACにお問い合わせください。

エラー コード	エラー メッセージ	原因
device_has_changed_domain	展開エラー – デバイスはドメインを {SRCDOMAIN} から {DESTINATIONDOMAIN} に変更しました。Try again later.] という	このエラーは通常、デバイス別のドメインから移動または得られたときに発生します。メイン間の情報が発生しない状態で再配置を行うと、通常の問題が解決します。
device_currently_under_deployment	このデバイスの別の展開が進行中のため、展開に失敗しました。Try again later.] という	これは通常、展開中のデバイスで展開がトリガーされたときに報告されます。一部のバージョンでは、障害通知なしでこの防ぐことができます。ただし、このフェーズはトラブルシューティングの支援のために残っています。
device_not_member_of_container	クラスタのメンバである個々のデバイスに展開を実行することはできません。クラスタの展開を後で再試行します。	このメッセージは、Firepower eXtensible Operative System (FXOS) シャーシマシナを使用するデバイスの FTD に適用されます。クラスタが FXOS で構築されている FMC では構築されていないため、このメッセージが表示されず、展開を試みる前に、Management Center アプリケーションでクラスタを作成してください。
policy_altered_after_timestamp_for_other_devices_in_job_error	1つ以上のデバイスのポリシーが	このエラーは、ユーザトリ

{TIMESTAMP}以降に変更されました。
配置を再試行します。

の導入後、CSM要素とドメインスナップショットが作成される前に、導入ジョブ内のデバイスに対してポリシー/オブジェクトが変更された場合に表示されます。再配置を行うと、この問題が解決されます。これは、多くのユーザーが導入と同じFMCを使用してオブジェクトを編集および保存する際に発生します。

policy_altered_after_timestamp_error

ポリシー{Policy Name}は {Timestamp}以降に変更されました。
配置を再試行します。

このエラーは、導入ジョブに相当するデバイスに対してポリシー/オブジェクトが変更された場合、ユーザートリガーが導入された後、CSMおよびドメインスナップショットが作成される表示されます。再配置を行うと、この問題が解決されます。

csm_snapshot_error

ポリシーとオブジェクトの収集に失敗したため、展開に失敗しました。繰り返し試行しても問題が解決しない場合は、Cisco TACに連絡してください。

最新のポリシーインポートが提供された場合は、1時間程度待ってから別の展開を試みま。これが許可されない場合は、データベース関連のメッセージがあるため、TACに連絡してください。

domain_snapshot_timeout

ポリシーとオブジェクトを収集するためのタイムアウトのため、展開に失敗しました。別の試行後も問題が解決しない場合は、Cisco TACにお問い合わせください。

ドメインスナップショットのフォルトのタイムアウトは、システムの高負荷、またはハイパーバイザーが動作している場合は、コアに異常な遅延が発生する可能性があります。これは、Management Centerまたはデバイスに適切な量のメモリリソースが提供されていない場合にも発生する可能性があります。これがロードなしで発生する場合は、または後で処理が進まない場合は、TACに連絡してください。

domain_snapshot_errors

ポリシーおよびオブジェクトコレクションの展開に失敗しました。別の試行後も問題が解決しない場合は、Cisco TACにお問い合わせください。

TACに連絡してください。
なトラブルシューティング
要です。

failed_to_retrieve_running_configuration

デバイスから実行構成情報を取得できなかったため、展開に失敗しました。配置を再試行します。

このメッセージは、エンド
サーとFMC間の接続が期待
りに機能しない場合に発生
可能性があります。ユニッ
のトンネルの健全性を確認
2つのデバイス間の接続を
します。

device_is_busy

デバイスが以前の展開または再起動
を実行している可能性があるため、
展開に失敗しました。別の試行後も
問題が解決しない場合は、Cisco
TACにお問い合わせください。

トンネルが期待どおりに動
、デバイスが通信できる場
、TACに連絡してください

このメッセージは、FTDで
の展開が進行中に、FMCが
を試行すると表示されます。
常は、FTDで以前の導入が
了で、FTDがリブートする
FTDのngfwManagerプロセ
再起動したときに発生しま
プロセスが正式にタイムア
するまで20分後に再試行す
、この問題は解決します。
遅延の後または遅延が許容
ない場合は、TACにお問い
せください。

no_response_for_show_cmd

デバイスの接続の問題が原因で展開に失敗したか、デバイスが応答しません。別の試行後も問題が解決しない場合は、Cisco TACにお問い合わせください。

FMCは、コンフィギュレーション生成用に実行コンフィギュレーションを取得するために、特定のLINA「show」コマンドを発行します。これは、エンドセンサーでの問題またはngfwManagerプロセスの問題が発生したときに発生する可能性があります。ユニット間の接続の問題がしていない場合は、TACにお問い合わせください。

network_latency_or_device_not_reachable

デバイスとの通信エラーのため、展開に失敗しました。別の試行後も問題が解決しない場合は、Cisco TACにお問い合わせください。

通常は、デバイス間のネットワーク遅延が大きいため、ホールのタイムアウトが発生します。デバイス間のネットワーク遅延を確認し、ユーザガイドに記載されているバージョンの値と一致することを確認し

<p>slave_app_sync</p>	<p>クラスター構成の同期が進行中のため、展開に失敗しました。配置を再試行します。</p>	<p>これは、FTDクラスターの設定のみ適用されます。アプリケーションの同期（構成の同期）進行中にFTDクラスターで導 試行されると、FTDによっ じことが拒否されます。こ 題は、設定同期後の再試行 決できます。 現在のクラスターステータス 管理対象デバイスのCLISH のコマンドを使用して追跡 ます。 >show cluster info</p>
<p>asa_configuration_generation_errors</p>	<p>展開でデバイス構成を生成できま せんでした。別の試行後も問題が解決 しない場合は、Cisco TACにお問い合わせ ください。</p>	<p>前述のUSMSログを確認す 、どの設定がエラーの原因 っているのかを確認できま これらは通常、Cisco Bug Toolを使用してログを参照 るバグか、Cisco TACに連 てさらにトラブルシューテ グを行うバグです。</p>
<p>interface_out_of_date</p>	<p>デバイスのインターフェイスが古い ため、展開に失敗しました。インタ ーフェイスページの設定を保存して 、再試行します。</p>	<p>これは、導入中または導入 にインターフェイスとデバ の関連付けが解除された場 、4100または9300のモデル 生じます。 展開を開始する前に、イン フェイスが完全に関連付け ているか、関連付けられて いことを確認します。</p>
<p>device_package_error</p>	<p>展開でデバイスの構成を生成できま せんでした。別の試行後も問題が解決 しない場合は、Cisco TACにお問い合わせ ください。</p>	<p>このエラーは、デバイスの イス設定を生成できなかつ とを示します。TACに連絡 ください。</p>
<p>device_package_timeout</p>	<p>構成の生成中にタイムアウトが発生 したため、展開に失敗しました。別 の試行後も問題が解決しない場合は 、Cisco TACにお問い合わせください 。</p>	<p>これは、通常の範囲を超え デバイス間に遅延が存在する に発生する可能性がありま 遅延が正規化された後も、 問題が発生する場合は、TAC 。</p>

device_communication_errors	<p>デバイスの通信に失敗したため、展開に失敗しました。ネットワーク接続を確認し、展開を再試行してください。</p>	<p>連絡してください。</p>
unable_to_initiate_deployment_dc	<p>ポリシーの展開に失敗しました。配置を再試行します。</p>	<p>このメッセージは、デバイスの通信の問題に対するフォールバックです。あいまいな性のため、不明な接続エラーが示すフォールバックとして書き込まれます。</p>
device_failure_timeout	<p>タイムアウトのため、デバイスへの展開に失敗しました。配置を再試行します。</p>	<p>別の方法でこの問題を解決します。これは、データベースのロックが原因でFMCが導開始できない場合に発生する可能性があります。</p>
device_failure_download_timeout	<p>デバイスへの構成のダウンロードのタイムアウトが原因で、展開に失敗しました。別の試行後も問題が解決しない場合は、Cisco TACにお問い合わせください。</p>	<p>これはFTDの導入に関連します。FTD上のプロセスは、イメージパッチの導入が完了するまで30分待機します。そうした場合、タイムアウトします。これが発生した場合は、デバイス間の接続を確認し、接続が想定どおりであるかどうかを確認して、TACにお問い合わせください。</p>
device_failure_configuration	<p>構成エラーのため、配置に失敗しました。別の試行後も問題が解決しない場合は、Cisco TACにお問い合わせ</p>	<p>これはFTDの導入に関連します。FTDは、接続の問題により、展開中にすべてのデバイスに設定ファイルをダウンロードできません。ネットワーク接続を確認してから、再試行してください。これが確認されている場合は、TACに連絡してください。</p>
	<p>構成エラーのため、配置に失敗しました。別の試行後も問題が解決しない場合は、Cisco TACにお問い合わせ</p>	<p>デバイスに対してFMCにより生成された設定のエラーは、使用後にこのエラーになります。</p>

ください。

この問題をUSMSログで分けて、発生している問題を確定し、ロールバックする必要があります。
この問題を修復した後、Cisco Bug Search Toolでログが既知の不具合と一致しない場合、Cisco TACによる介入とバグの修正が必要になります。

deployment_timeout_no_response_from_device

デバイスとの通信タイムアウトのため、展開に失敗しました。別の試行後も問題が解決しない場合は、Cisco TACにお問い合わせください。

このタイムアウトは、FMCが45分またはそれ以降にデバイスから応答がない場合に発生します。
これは通信エラーです。通信を確認し、確認できた場合はCisco TACに連絡します。

device_failure_change_master

プライマリユニットが変更されたため、クラスターへの展開に失敗しました。配置を再試行します。

FTDクラスターセットアップでは、デバイスでの導入の完了中（通知後）にプライマリノードが切り替わると、このエラーが表示されます。
プライマリノードが安定したら、再試行します。
現在のクラスターメンバーのリストは、管理対象デバイスでCLISHで次のコマンドを使用して追跡できます。
>show cluster info
FMCは、展開中に現在のプライマリノードを特定できませんでした。

device_failure_unknown_master

プライマリユニットの識別エラーのため、クラスターへの展開に失敗しました。配置を再試行します。

これは通常、次の2つの可能性があります。接続の問題または現在のプライマリがFMCクラスターに追加されていないため、接続が再確立された後、現在のプライマリがFMCクラスターに追加されて再試行が行われた後に、この問題は解決します。

ずです。
現在のクラスタステータス
管理対象デバイスのCLISH
のコマンドを使用して追跡
ます。
>show cluster info

cd_deploy_app_sync

クラスタ構成の同期が進行中のた
め、展開に失敗しました。 配置を再
試行します。

これは、デバイスがApp S
ある場合に発生する可能性
ります。App Syncが完了し
、もう一度展開を再試行し
ださい。

cd_existing_deployment

以前の同時展開と競合するため、展
開に失敗しました。別の試行後も問
題が解決しない場合は、Cisco TACに
お問い合わせください。

これは、一方の側で導入が
に行われ、他方では行われ
場合に発生します。
これらは通常、デバイス間
信の問題が原因で発生しま
タイムアウトが発生した後
開できない場合は、TACに
してください。

TACに問い合わせる

前述の情報ではポリシーの導入を続行できない場合、または問題が既存の文書化された動作と関
連がないと考えられる場合は、次のリンクにある手順を使用してトラブルシューティングファイ
ルを生成し、TACに連絡して分析とバグ作成を依頼してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/security/sourcefire-defense-center/117663-technote-SourceFire-00.html>

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。